令和5年度 学校自己評価報告書

津市立安東小学校 校長 北岡 明直

I 令和5年度学校経営の改革方針

1 「学校教育目標」未来を切り拓く、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

目指す学校像

- ・みんながつながり合い支え合う学校
- ・安全で安心な信頼できる学校
- ・やる気いっぱい、やさしさいっぱいの学校
- ・地域に根差した学校

2 現状と課題

素直で伸び伸びとした児童が多く、日常生活においても学年を越えて仲良く遊ぶ姿が見られる。児童は、勤労生産体験学習、昔遊び、登下校の見守りなどで保護者や地域の人々に支えられていることを実感しながら学校生活を送っている。しかし、各学年単学級のため、大勢の中で切磋琢磨する経験が少なく、特に自ら進んで取り組む力が弱いように思われる。北海道上富良野町を開拓した田中常次郎の精神を受け継ぎ、みんなの前で自分の意見を述べ、自ら進んで行動できるような児童の育成を目指したい。

3 重点目標

- (1) 児童が「安東小学校で学ぶことが楽しい」と実感するような学習活動を計画的に行う。
- (2) 基礎・基本を大切にし、学力向上につながる授業の工夫・改善を進める。
- (3) 全ての教育活動を通して、一人ひとりの存在や思いを大切にし、人権感覚にあふれた学年・学校づくりに取り組む。
- (4) 児童と地域の方々が触れ合える機会を大切にし、地域に愛着と誇りを持たせる取り組みを進める。
- (5) 保護者や地域と連携し、安心・安全で開かれた学校づくりに取り組む。

4 具体的な行動計画

- 本校の特色である「米作り」の勤労生産学習や防災学習に地域の方々に指導や協力をして頂き、地域と連携した体験活動を実施する。
- 北海道上富良野西小学校との交流を進め、互いの児童の心に残るものにしていく。(今年度は上富良野西小学校からの6年ぶりの訪問)

- さまざまな人権課題について正しい理解と認識を持ち、自分も仲間も大切に人権・道徳教育を進める。
- 自信を持って生き生きと活動できる自己肯定感の高い児童の育成を目指し、発表の場として「安東フェスティバル」の開催や児童会・委員会活動の活性化など、全教育活動を通して取り組む。
- 教師全員が年1回研究授業を行う。また ICT 等を効果的に活用した授業について、さらに研修を深める。
- 日頃から児童の実態や指導上の問題等の情報交換を行い、全職員が理解し、指導にあたる。
- 児童や保護者に対してホームページや学校・学年だより等を活用しながら積極的な情報発信を行う。また授業参観等による学校公開を実施し、開かれた学校づくりを推進する。
- 学校運営協議会を開催し、地域と協働した学校運営を進める。本年度、地域コーディネーターと緩やかなネットワークの組織作りを進める。学校設備のトイレ（ウオシュレット）の改修についてさらに進める。
- 行事の取り組みについては、毎月の振り返りを行うとともに、2学期末には保護者・児童・教職員にもアンケートを実施し、学校評価を学校運営に活かす。
- 総勤務時間縮減の取り組みとして、時間外労働時間月45時間超の人0、一人当たりの有給休暇取得日数前年度比1日増を目指す。また、定時退校日の月2回設定や定時に退校できる職員の割合85%、60分以内の会議の割合85%を目指す。

II 学校自己評価

1、児童アンケート結果

15項目の内「そう思う」「ややそう思う」の合計90%以上到達した項目は、7項目であった。これは昨年と同じ数だった。特に「2友だちと仲良くしている（相手を尊重して協力している）」98%（+2.3%）「10、学校行事（運動会、安東フェスティバル、校外学習）に頑張って取り組んでいる。自分の力を発揮して取り組んでいる。」94%（+4%）、「7、忘れ物をしないように気を付けている。」93%（+8%）、「3、授業はよくわかる」92%（+1%）と上昇した。これは、子どもたちが周りの友だちと協力し、行事に一生懸命取り組んでいる姿が伺える。また忘れ物をしないように気をつけている子が増えており、授業がよくわかることにもつながっていると思われる。しかし、その一方、「5、授業中進んで自分の意見を言っている。」に対し、「そう思う」「ややそう思う」68%（-14%）、「6、授業中わからない時は進んで質問している。」は、同63%（-10%）、「15、家で自分で計画を立てて勉強をしている。（学校の予習や復習を含みます。）」は、同65%（-7%）となっている。このことから授業はまじめに取り組んでいるが、自分から進んで意見を言ったり、質問したり、自分で勉強したりすることに課題があると考えられる。

このことは重要課題と受け止め、今後も授業研修を行い、改善に努めていきたい。今年度新しく取り入れた「9、自分にはよいところがあると思う。」は同79%という結果であり、今後もさまざまなことを経験させ、やってよかったと実感できるような学習活動を行っていききたい。また「12、学校で自分から進んであいさつをしている。」92%、「14、家で自分からあいさつしている。」87%と共に高い値となっている。

2、保護者アンケート結果

今年度は昨年よりアンケート項目を2つ増やした。18項目のうち、5項目について「そう思う」「ややそう思う」と90%以上肯定的な回答を頂いている。「2、学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。」の「そう思う」「ややそう思う」（肯定的評価）が、昨年度76%から今年度88%と12%上昇、「2、学校は地域の特色を生かした教育活動をしている。」が昨年度より、+9%という結果であった。「6、学校は環境整備がなされている。」は、+15%と上昇した。本年度も昨年に引き続き、3階の男女トイレにウォシュレットが設置されたことが大きいと思われる。しかし、その一方「15、子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。」は、昨年度より-10%、「子どもたちに豊かな心が育まれている。」は、昨年度より-9%、今年新たに入れた項目「子どもは家で自分で計画を立てて勉強している。（学校の予習・復習を含みます。）」54%、「子どもは進んで行動している」55%という結果であった。

3、教職員アンケート結果

「①職員会議の提案方法や終了時刻を全職員が意識することで、勤務時間内に会議を終了し、過重労働の解消に取り組むことができたか。」の項目で、昨年度より0.3ポイント上昇した。また「②お互いに1日に一度は声を掛け合い、職場での良好なコミュニケーションを図ることができたか。」では、昨年度より0.2ポイント上昇した。

4、学校運営協議会より

・学校運営協議会の構成メンバー

中村 賀昭	安東地区自治会連合会会長	稲垣 欣也	地域コーディネーター
西村 淑子	学校運営協議会委員	竹仲 透	学校運営協議会委員
垂髪 隆一	学校運営協議会委員	林 光男	学校運営協議会委員
小原田 瑞	PTA 会長		

・学校運営協議会は3回開催

第1回（5月31日）	学校経営方針や年間計画の説明
第2回（10月24日）	授業参観の感想、施設設備についての意見
第3回（2月29日）	学校自己評価や児童・保護者・教職員アンケート結果についての感想・意見

○児童アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートの結果、学校自己評価を説明し、今年度の反省と来年度に向けた取り組みについて次のご意見を頂いた。なお本評価等はホームページ等で保護者や地域に発信していく。

<意見>

- ・これからも上富良野西小学校との交流、防災タウンウォッチング、安東ウォーキング、昔遊びなど、ゆるやかなネットワークを使っただけの様々な活動を充実させてほしい。
- ・児童が授業中、進んで自分の意見を言える、授業中わからない時は進んで質問できるような授業改善に取り組んでほしい。
- ・学校運営協議会やゆるやかなネットワークの方々と連携しながら、学校の環境整備や通学路の安全対策をさらに推進してほしい。

Ⅲ 総括

- ・「米作り」を中心とした勤労生産体験学習や地域の方々との防災学習、北海道上富良野西小学校との交流を今後も充実させていく。防災学習については、各自治会長さんとさらに連携を深め、さらに充実させていきたい。また上富良野西小学校との交流は、実際に参加する子どもの数が少ない点で、課題がみられたが、今年度ZOOMを使っただけの交流により、4～6年生のすべての子どもたちが参加することができ、大変意義深いものとなった。これからも続けていきたい。
- ・外部の講師を呼ぶなど、校内研修を充実させ、先生たちの授業改善に努めて取り組んでいきたい。また子どもたちの自己肯定感を高めるような指導のあり方についても研修を進めていきたい。
- ・保護者、地域の方々との連携を一層強固なものにしていけるよう、地域コーディネーターの方の協力を得ながら、その組織づくりを進めていきたい。